

2 ビジョンの背景

前頁「1 名東区のビジョン」は、以下のような名東区の特徴（統計情報など）やまちづくり活動に取り組まれている方々の声、また、区民アンケートの結果などを踏まえ策定しています。

(1) 名東区の特徴

○名古屋の中のベッドタウン的なまち

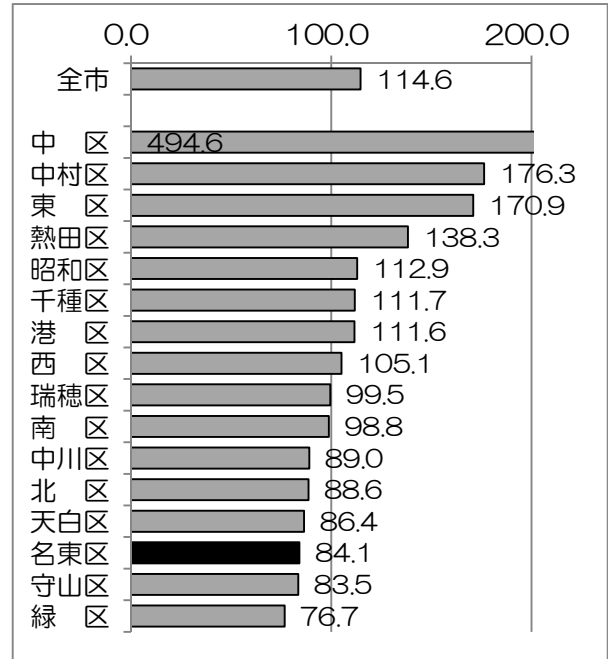
名東区の人口は、昼間人口が人口に比べて大幅に少なく（資料1）、名古屋の中ではベッドタウン的な機能を果たしているまちであるといえます。そのため、「地域の良好な生活環境」に対するニーズが相対的に高いまちであると考えられます。

○人の入れ替わりが激しいまち

名東区は直近5年間では年間約1万2～4千人の住民が転出入しており、毎年、住民の8%前後の方々が入れ替わっていることとなります（資料2）。そのため、ともすればまちへの愛着や住民相互の連帯感を薄れさせるリスクを抱えているといえます。

資料1 区別昼間人口比率（昼間人口/人口）

（平成17年10月、単位：%）



資料2 平成22年10月～平成23年9月の転出入数

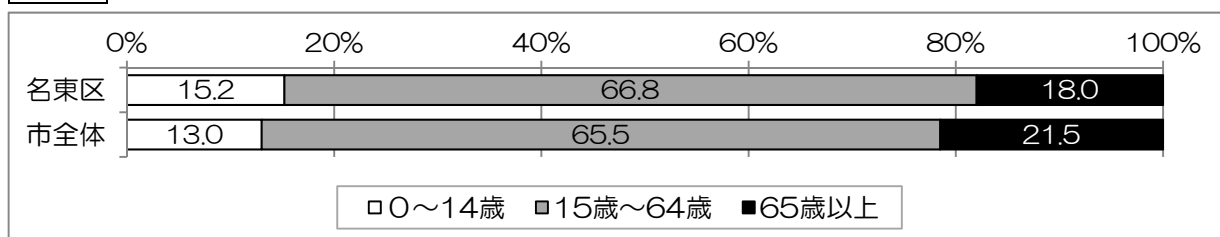
	平成22年10月1日の人口 (A)	転入数 (B)	転入率 (B/A)	転出数 (C)	転出率 (C/A)
名東区	161,012人	12,452人 (16区中2位)	7.7%	12,663人 (16区中1位)	7.8%
市全体	2,263,894人	147,449人	6.5%	145,441人	6.4%

○若いまち、若い世代が集まるまち

名東区人口^{*1}の年齢別構成比は、市全体と比べ0～14歳の区分で約2ポイント、15歳～64歳の区分で約1ポイントと高い水準です（資料3）。平均年齢は41.9歳（平成24年1月1日現在）と、全市の平均年齢44.1歳と比べて2.2歳も若く、緑区と並び16区中1番目の水準と、若いまちです。

また、区内及び周辺には学生が集まる大学や若い世代向けの商業施設などがあり、学生向け住宅なども備える学生街としての機能をもった、**若い世代が集まるまち**でもあるといえます。

資料3 名東区人口の年齢別構成比（平成24年1月）



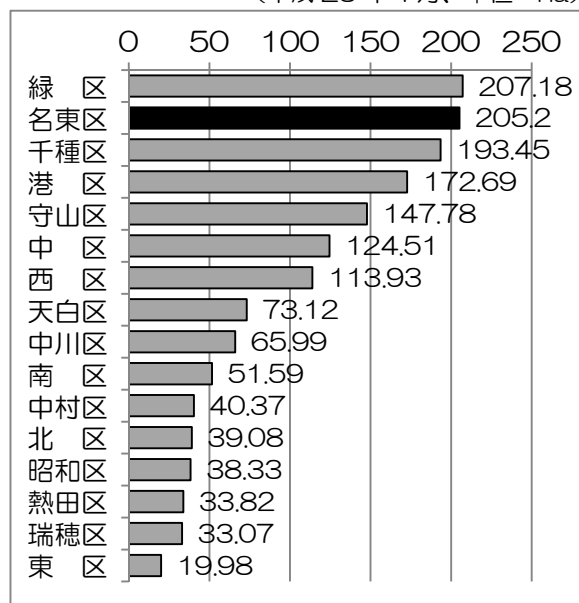
○活気のあるまち

名東区は、地下鉄東山線、リニモ、東名高速道路、名二環、名古屋環状2号線などが通る、交通の結節点です。特に、地下鉄東山線沿いは活気にあふれ、終点藤が丘駅周辺は、郊外の落ち着きとファッションナブルな都市の機能をあわせ持ったまちづくりがすすめられています。

このように「交通アクセスが良い」ことや「買い物施設が充実」しているといったイメージから、民間デベロッパーの調査^{※2}では、藤が丘駅周辺は愛知県内の住みたい街ランキング・名古屋市東部エリア1位となっています。若い世代が集まるといった特徴と相まって、**にぎわいと活気を生み出す可能性の高いまち**であると考えられます。

資料4 区別都市公園面積

（平成23年4月、単位：ha）



○自然環境の豊かなまち

名東区には猪高緑地・明德公園・牧野ヶ池緑地などの緑地や、香流川・植田川といった河川、牧野池や塚ノ杵池などのため池、また、区画整理事業によって生み出された広面積の都市公園（資料4）などがあり、16区中5番目の高い緑被率^{※3}を誇る、**自然環境の豊かなまち**です。

※1 名東区人口（推計人口）
国勢調査結果を基礎とし、毎月の住民基本台帳人口及び外国人登録人口の異動数を加減して推計したものです。

※2 民間デベロッパー調査
株式会社長谷工アーベストが実施したアンケート調査「愛知県 住みたい街ランキング 2010」。同社ホームページ（<http://www.haseko.co.jp/hc/news/pdf/101207.pdf>）に、詳細な調査結果が掲載されています。

※3 緑被率
樹林地、草地、農地など植物で被われた土地の面積の市域の全体面積に対する割合を示したものです。

(2) 区民ニーズ1 - 区民アンケートの結果 -

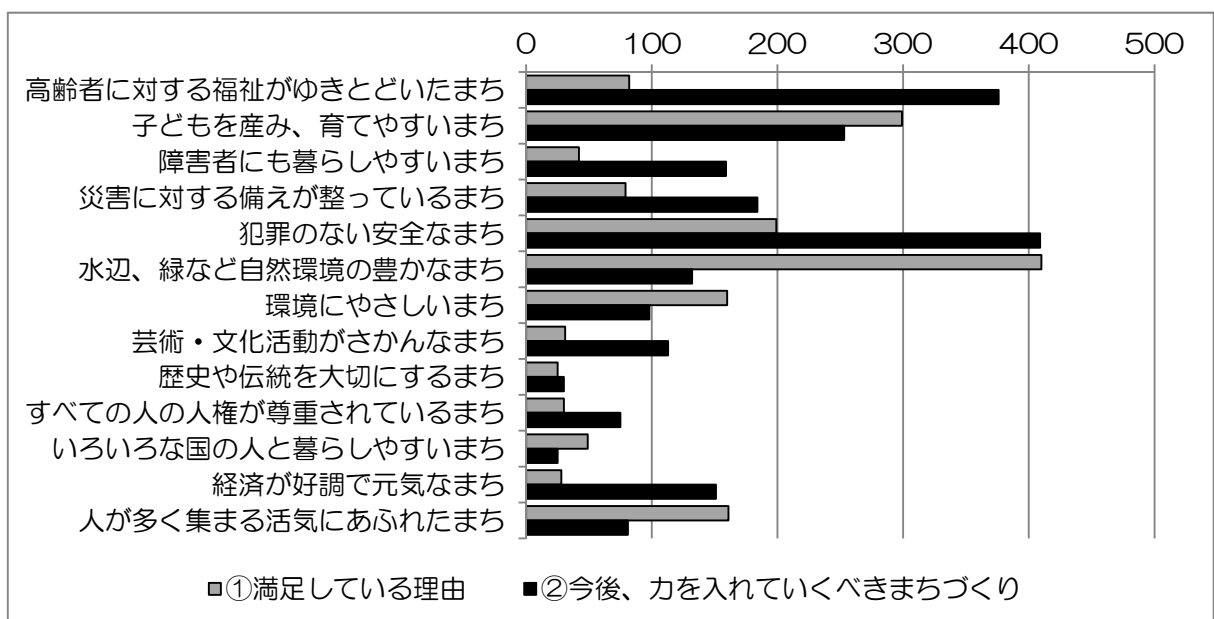
平成 22 年 7 月、これまで以上に広く区民の皆さまのご意見・ニーズをうかがい、今後の区政運営に活かしていくために、満 20 歳以上の区民 2,000 人を対象に、名東区の現状と今後期待することについてアンケートを行いました。

名東区で暮らすことについての満足度を問う「あなたの大切な人に、名東区に住むことをすすめますか」という質問については、95%の方々に肯定的な評価（6 段階中の上位 3 段階）をいただきました。

また、質問①「名東区に満足している理由」と質問②「今後、力を入れていくべきまちづくり」についてそれぞれお聞きしたところ、資料 5 のような結果となりました。

資料 5 平成 22 年度名東区区民アンケート（抜すい）

（単位：件）



注 1 質問①、②とも複数回答（回答総数は①が 1,717 件、②が 2,109 件です。）。

注 2 アンケート結果の詳細については、名東区ホームページなど

(<http://www.city.nagoya.jp/meito/page/0000017163.html>) でご覧いただけます。

この結果からは、質問①「満足している理由」の高い項目

- ・ 自然環境の豊かなまち
- ・ 子どもを産み、育てやすいまち

の 2 項目は、名東区の強みであるということが出来ます。

これに対し、質問②「今後、力を入れていくべきまちづくり」のポイントは高いが、質問①のポイントが低く、その差が大きい項目

- ・ 高齢者に対する福祉がゆきとどいたまち
- ・ 犯罪のない安全なまち

は、区民の皆さまの期待に現状が追いついていないということがわかります。今後、特に期待が高い項目であるということが出来ます。

(3) 区民ニーズ2 - まちづくり活動をされている方々の「気づき」 -

地域には、自治会、子ども会、NPO、ボランティアなど様々な形でまちづくり活動をされているたくさんの方々があります。このような方々の日ごろの努力によって、名東区の地域がうまくまわっているのだともいえます。

また、このような方々の日々の活動の中での様々な「気づき」が、区政を運営していく上での大きなヒントとなっています。

代表的なものとしては、地域と市区行政のパイプ役として広報広聴活動、災害対策などに協力いただいている区政協力委員の皆さまからは、

- ・「家族構成の変化やプライバシー保護意識の高まり、さらには地域活動に対する協力意識の薄れなどにより地域課題や住民要望が年々、複雑・多様化して」いること

への危機感が伝えられています。

住民の身近な相談者として、高齢者や児童など多様な福祉課題への対応、地域福祉の推進役となっていただいている民生委員・児童委員の皆さまからは

- ・「地域住民の皆さまに民生委員・児童委員の活動をもっと知ってもらい、地域にかかわっていただく」こと
- ・「育児などの情報が「必要としている人に的確に伝わるようにしていく」こと
- ・「高齢者や障害者の方などと地域の「社会的な接点をつくり、交流できるようにする」こと

などが、今後、さらに必要であるとお聞きしています。

また、地域の衛生活動の進展などのための活動をしていただいている保健委員の皆さまからは、

- ・「健康づくりなどの「地域での取り組みを充実すること」
- ・「ごみ・資源の分別マナーを徹底すること」といった生活マナーを向上すること

などについての意見をいただいています。



(4) 区民ニーズ3 - 区民ミーティングの結果 -

区民アンケート結果をもとに、改めて区民の皆さまが本当に望んでいる「名東区の将来像」を、生の声で確認し、区のビジョン、すすむべき方向性を皆さまと一緒に考え、区政運営方針を策定したいと考え、平成22年12月に「区民ミーティング」を開催しました。19学区より推薦いただいた地域でまちづくり活動をされている方と公募により参加いただいた方、計44名の方々にワークショップ形式で、

テーマ①「5～10年後の名東区をこんなまちにしたい」

テーマ②「そのために自分たちで何ができるか、行政に何をしてほしいか」

について話し合っていました。

○テーマ①「5～10年後の名東区をこんなまちにしたい」の結果

様々なまちの将来像について意見をいただきましたが、多くの参加者に合意された将来像として、以下のような項目が挙げられます。

- ・ 人と人との交流が盛んなまち
- ・ 高齢者が暮らしやすいまち
- ・ 生活に便利なまち
- ・ 子どもがのびのびと暮らせるまち
- ・ 住民マナーのよいまち



○テーマ②「そのために自分たちで何ができるか、行政に何をしてほしいか」の結果

テーマ①で挙げられた将来像に向けて、「自分たちで何ができるか」また「行政に何をしてほしいか」、いろいろなアイデアをいただきましたが、どんなまちを実現するにしても、

・ 「人と人とのつながりづくり」が重要であり、すべての起点となるということが参加者で合意されました。

また、つながりづくりは、区民一人ひとりが自ら得意な分野で地域に参加・提供することから始まるのであり、

- ・ 区役所を始めとする行政の大切な役割の一つは、人と人が「つながる場」や「つながるための情報」を提供すること

であるとのこと意見をいただきました。

まとめとしては、

- ・ 「住民が得意なことは住民がやる、行政でしかできないことは行政がやる」ことが、今後ますます大切になっていくこと
- ・ そのために、適切な役割分担とは何かを考えていかなければならないこと

が確認されました。